

講義名	教養特講Ⅰ（経済情報学科へのいざない）		
科目区分	教養特講		
担当教員	関陽／澤田清／辻美代／ 羽森直子／平眞裕之／藤岡千伊奈／		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限	授業形態	
	2020年度 経済学部 経済情報学科 / 2020年度 経済学部 経済学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

<b>主題と概要</b> <b>★注意★：</b> 緊急事態宣言に伴い、当分の間、本授業はオンライン授業を進めることになりました。それに伴い、授業の進め方、提出課題、評価の基準等は、当初の予定から変更されることがあります。RYUKA Portalの「講義連絡」やメールをごまめにチェックするようにして下さい。 <p>本科目のねらいは、皆さんが今後4年間かけて経済学部経済情報学科のディプロマ・ポリシーに掲げた資質・能力を獲得するために、自分にとって必要な学びやその道筋のヒントを得ることです。</p> <p>本科目では、経済情報学科の学びの概要を紹介するとともに、経済情報学科所属の教員と、経済学科の教員(2名)が、自己紹介、担当科目や関連科目の紹介、担当科目や関連科目に関するトピックスの紹介などを行います。</p> <p>なお、本科目ですべての専門科目を紹介することはできません。紹介されなかった科目は、各自でシラバスを参考に内容などを確認してください。</p>
---

<b>到達目標</b> 本科目の狙いは、将来の夢や目標(なりたい自分)に向けた4年間の学びの道筋を考えるために必要な経済情報学科での学びについて「知る」ことです。さらに、自分にとって必要と思う科目、興味・関心を持った科目を「見つけ出す」ことです。
<b>提出課題</b> 各回の担当教員により異なります。提出方法も、授業時間内での提出やRyuka Portal、印刷物での後日提出など様々です。担当教員からの説明を聞いてください。

<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b> 各回の担当教員により異なります。
--

<b>評価の基準</b> 代表教員が、各回の担当教員の評点(各回10点)を取りまとめ、合計点数(満点は10点×15)を計算します。その合計点数を100点満点に換算したものが成績となります。各回教員ごとの評点は、授業参加度、授業に対する感想、課題レポート、小テストなど教員ごとに異なります。
---

<b>履修にあたっての注意・助言他</b> 3点(※)あります。※PDFで表示されない場合は、RyukaPortalのシラバスWebページで確認してください。 <p>1) 本科目の位置づけ  この科目の科目区分は、「全学共通科目／教養科目／教養一般・教養特講」（最低必要単位数は8単位）です。この科目区分には、本科目以外にも多くの教養科目が開講されています。「本科目の到達目標くらいのは、自分でできる」という学生は、履修する必要はありません。その場合は、この科目区分に含まれる他の科目を履修してください。  ただ、本科目のような学科学科専門科目の全体像を知る機会は、ほかにありません。学科の学びの内容をある程度知っている場合でも、個々の専門科目の担当教員や担当科目のことを知っている、今後の科目履修の参考になるだけでなく、2年生から始まる専門演習（通称、ゼミと呼ばれる特別演習科目）の選択にも役に立つはずです。その意味でも、履修することを強くお勧めします。</p> <p>2) 出席の重要性  原則として、毎回異なる教員が、異なる内容で講義を行います。経済情報学科全体の学びの内容の理解のためには、全教員の講義に出席することが重要です。さらに、各教員から出される課題を提出するのにも困難となります。したがって、欠席すると到達目標に届かず、D評価（本科目の単位は未修得）となる可能性が高まります。</p>
--

<b>教科書</b> . 使用しません。
-------------------------

<b>プリント資料及び参考文献</b> 必要に応じて各回の担当教員が指示します。 講義で配布された資料は、他の回でも使用するかもしれません。また、大学より配布された「履修要項」や「科目一覧表」などの資料は、本講義における科目確認などで利用する機会があるかもしれません。 これらの資料は、毎回持参しておいてください。
--

<b>授業計画</b> 1. 講義概要の説明、経済学部の学びと経済情報学科の位置づけ、経済情報学科の学びの概要、コースの概要 2. ～15. 各教員による講義(上田真由美、森澤龍也、藤岡千伊奈、澤田清、平眞裕之、羽森直子、辻美代、関陽)
--

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>
ア：PBL（課題解決型学習） イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） ウ：ディスカッション、ディベート エ：グループワーク オ：プレゼンテーション カ：実習、フィールドワーク

<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b> 1. 配布資料とともに履修要綱や科目一覧表などを参考に学びの概要を復習（4時間程度） 2. ～15. 各教員のプロフィールや担当科目、科目概要、自分の興味や関心事項などを予習・復習（各4時間程度）
---

<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b> Responを使用することがあります。ただし、各教員により使用機材は異なります。
---

<b>実務経験の有無及び活用</b> 教員ごとに異なります。
-----------------------------------

<b>備考</b> 特にありません。
-----------------------